スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

新潟県 糸魚川市

自 治 体 名 ： 新潟県糸魚川市
担 当 課 名 ： 教育委員会事務局　生涯学習課
電 話 番 号 ： ０２５－５５２－１５１１

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	746.24 ㎢
人口	38,363 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	864 人
部活動数	54 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	検討委員会設置 （令和5年11月）
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	推進計画策定済 （令和6年3月）

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

令和４年度から地域連携部活動の充実と段階的な休日の部活動の地域移行・地域展開に取組み、令和6年3月に、糸魚川市における目指す姿と推進計画を策定している。

当市においても、学校単位で活動が困難になってきている部活動種目が多くあり、中学生が望む活動をこれからも選び、取り組んでいける体制づくりが急務となっている。

市内のジュニアスポーツ育成団体を中心とした社会教育団体と学校とが連携した地域ぐるみの受皿体制づくりを進めている。

◆糸魚川市内の中学校部活動（運動部）
・・・４中学校15種目54部活動
（内、特設部活動５種目12部活動）
◆地域クラブ活動を開始した部活動
➡R４　３部活動（１地域クラブ）
➡R５　５部活動（５地域クラブ追加）
➡R６　14部活動（11地域クラブ追加）
＜R6現在＞ 10種目17クラブが活動開始

学校名	項目	R2	R3	R4	R5	R6
能生中学校	生徒人数	166	159	150	151	142
糸魚川東中学校	生徒人数	132	136	129	130	132
糸魚川中学校	生徒人数	466	475	475	467	430
青海中学校	生徒人数	156	162	171	158	160
中学校計		920	932	925	906	864

統計いといがわ（Ｒ６）抜粋

【市内4中学校の部活動設置状況】

		学校別 / 競技別	能生 男	能生 女	糸魚川東 男	糸魚川東 女	糸魚川 男	糸魚川 女	青海 男	青海 女
学校に部活動がある種目	運動部	1 陸上競技	○	○	○	○	○	○	○	○
		2 バスケットボール			○	○	○	○	○	
		3 サッカー					○			
		4 軟式野球	○		○		○		○	
		5 体操競技					○	○		
		6 バレーボール	○	○			○	○		○
		7 ソフトテニス					○	○		○*
		8 卓球	○	○	○	○	○	○	○	○
		9 剣道					○	○	○	○
特設部活動とその他		15 水泳競技	●	●			●	●	●	●
		16 バドミントン					●*			
		17 柔道					●			
		18 相撲	●							
	スキー	19 クロスカントリー			○	○				
	スキー	19 ジャンプ								
	スキー	19 アルペン	●	●			●			
		20 駅伝			●					
		21 空手								

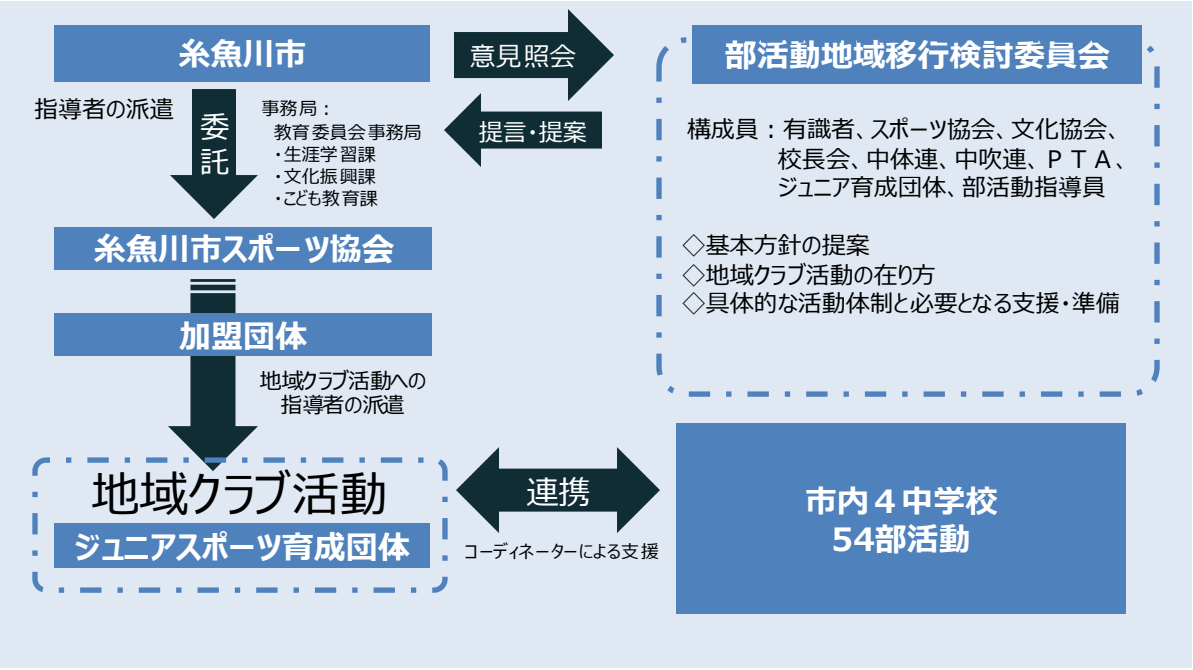
1. 部活動あり…「○」
2. 特設部活動あり…「●」
3. 平日・休日ともに移行済み…「＊」
4. 地域クラブの移行状況

… 令和5年度
令和6年度（見込み）

2．実証内容と成果

運営体制・役割

▼令和７年度末までの移行期における地域クラブ活動推進体制図



▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会**（生涯学習課）
  - 検討委員会企、画運営
  - 地域クラブ活動体制整備
  - スポーツ協会との協議と連絡調整
  - ジュニアスポーツ育成団体の支援と指導者の確保育成
- **教育委員会**（文化振興課）
  - 地域クラブ活動体制整備
  - 文化協会との協議と連絡調整
  - 文化芸術団体の支援と指導者の確保育成
- **教育委員会**（こども教育課）
  - 市内４中学校の部活動方針と将来ビジョン決定
  - 地域クラブ活動との連携体制検討及び整備

▼スポーツ協会の役割分担

- **糸魚川市スポーツ協会**
  - 地域の指導者の確保育成
  - 地域クラブ活動や部活動への指導者の派遣

年間の事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検　討 委員会	・目指す姿 広報									開催		
地域クラブ 活　動	・会員募集 ・とりまとめ	地域クラブ活動										委託対象外 活　動
説明会 研修会	・説明会 （スポ協・学校）		・スポーツ 協会との感 段階		・学校説明 会		・研修会			教育懇談 会		地域クラブ活 動広報
部活動と地 域クラブ活動 のマッチング	・地域クラブ 活動募集 ・意向調査	地域クラブ活動体制づくり・コーディネート		・アンケート 調査	・学校への 情報提供							・地域クラブ活 動実績報告

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績①

①全体に関すること

中学校数	４校	実施した地域クラブ総数	17 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		４ クラブ（４ 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		13 クラブ
全体の指導者数	74 人	全体の運営スタッフ数	ー 人

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績②

②各クラブに関すること

令和６年度　地域スポーツクラブ活動リスト

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施曜日	時間帯	参加者	実施期間	活動場所	指導者	会費	大会参加方法
ラブオールＩＴＯＩＧＡＷＡ	ジュニアスポーツ団体	バドミントン	140回	月・木 金 土	18:00～20:30 19:00～21:00 16:00～19:00	14名	通年	亀が丘体育館（月） 市民総合体育館（木・金） 糸魚川東小体育館（土）	5人	2,000円／月	クラブで参加 （中体連大会含む）
糸魚川市ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ協会 U15委員会（男子）	競技団体	バスケットボール （男子）	140回	月・水 金 土	18:30～20:30 19:00～20:30 9:00～12:00	18名	通年	市民総合体育館（月・水） 糸魚川高校体育館（金） 市内体育施設	5人	20,000円／年	クラブで参加 （中体連大会除く）
糸魚川市ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ協会 U15委員会（女子）	競技団体	バスケットボール （女子）	140回	月・水 金 土	18:30～20:30 19:00～20:30 9:00～12:00	15名	通年	市民総合体育館（月・水） 糸魚川高校体育館（金） 市内体育施設	5人	20,000円／年	クラブで参加 （中体連大会除く）
青海ジュニアソフトテニスクラブ	ジュニアスポーツ団体	ソフトテニス	140回	火・水・金 土	16:00～18:00 9:00～12:00	13名	通年	青海中テニスコート（平日） 名引山テニスコート（休日）	5人	2,000円/年	クラブで参加 （中体連大会含む）
青海ベースボールクラブ	ジュニアスポーツ団体	軟式野球	105回	木 土or日	18:30～20:45 9:00～12:30	20名	通年	青海総合グラウンド（平日） 青海中学校グラウンド（休日）	3人	20,000円/年	クラブで参加 （中体連大会除く）
糸魚川ヤングバレーボールクラブ	ジュニアスポーツ団体	バレーボール （男子）	105回	月木 日	19:00～22:00 19:00～21:00 13:00～16:00	15名	通年	糸魚川中武道館（月） 亀が丘体育館（木・日）	3人	2,000円/月	クラブで参加 （中体連大会除く）
美山ベースボールクラブ	ジュニアスポーツ団体	軟式野球	40回	月 土	18:30～20:30 8:30～11:30	11名	通年	糸魚川中グラウンド	3人	500円/月	クラブで参加 （中体連大会除く）
糸魚川エクスプレスクラブ	ジュニアスポーツ団体	軟式野球	140回	火・水・金 土or日	18:00～19:00 8:30～11:30	19名	通年	糸魚川東中グラウンド	3人	3,000円/月	クラブで参加 （中体連大会除く）
糸魚川ＦＣ　U-15	ジュニアスポーツ団体	サッカー	105回	月・水 火 土	19:00～21:00 18:45～20:30 13:00～16:00	3名	通年	田沢ハグラウンド(月) 糸魚川東グラウンド（火） 糸魚川中グラウンド（水） 須沢臨海公園（土）	11人	6,000円/月	クラブで参加 （中体連大会除く）
奴奈川会	ジュニアスポーツ団体	バレーボール （女子）	70回	月・木	19:00～21:00	11名	通年	糸魚川中武道館（月） 亀が丘体育館（木）	3人		クラブで参加 （中体連大会除く）
能生ジュニアバレーボールクラブ （男子）	ジュニアスポーツ団体	バレーボール （男子）	105回	火・金 日	18:30～20:30 8:00～12:00	11名	通年	能生中学校体育館	2人	3,000円/年	クラブで参加 （中体連大会除く）
能生ジュニアバレーボールクラブ （女子）	ジュニアスポーツ団体	バレーボール （女子）	105回	火・木 日	18:30～20:30 8:00～12:00	11名	通年	能生中学校体育館	2人	3,000円/年	クラブで参加 （中体連大会除く）
糸魚川フロンティアクラブ	ジュニアスポーツ団体	ソフトテニス	70回	土・日	18:00～21:00	29名	通年	糸魚川中学校体育館 または 美山テニスコート	5人	10,000円/年	クラブで参加 （中体連大会除く）
青海体操クラブ	ジュニアスポーツ団体	体操競技	140回	月・木 水 日	16:30～18:30 16:30～19:30 13:30～16:30	6名	通年	青海生涯学習センター	5人	週4日教室 3,000円/月 ※冷暖房費 4,000円/年（別） 週1日ハンビ 1,500円/月	クラブで参加 （中体連大会除く）
能生相撲教室	ジュニアスポーツ団体	相撲競技	105回	木 土・日	18:30～20:00 9:00～12:00	2名	通年	海洋高校相撲場	2人	2,000円/月程度 （随時）	クラブで参加 （中体連大会含む）
糸魚川市少年柔道教室	ジュニアスポーツ団体	柔道	70回	月・水	19:00～21:00	2名	通年	糸魚川白嶺高校格技場 ※3月・4月は美山管理棟	2人	3,000円/年	クラブで参加 （中体連大会含む）
青海剣道クラブ	ジュニアスポーツ団体	剣道	70回	月・木	19:00～20:30	14名	通年	青海中講堂	10人	3,000円/年	クラブで参加 （中体連大会除く）

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績③

③その他、体験会やイベント等の開催実績

◆『地域移行だより』の発行

学校部活動地域移行だより No1
～学校部活動から地域クラブ活動へ～

発行
糸魚川市教育委員会事務局
令和６年３月

少子化により生徒数が減少し、学校単位での練習や大会参加が困難になったり、競技経験のない先生が顧問になり、生徒も先生も苦心していたりすることなどから、部活動の見直しが進められています。将来にわたって、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保するために、文部科学省は部活動改革を進め、中学校の部活動を段階的に地域に移行する考えを示しました。これを受けて、糸魚川市でも部活動の地域移行を見据えた準備を進めています。

部活動の地域移行検討委員会が設置されました

『糸魚川市立中学校部活動の地域移行に係る検討委員会』

上越教育大学の先生を委員長として、学校、スポーツ・文化芸術団体、PTAの代表者が集まり、糸魚川市における部活動と地域クラブ活動の目指す姿や、学校と地域の連携を進めるためにどのような取組が必要となるかなどについて、検討を進めています。

休日の部活動の地域移行は、令和8年度を目標としています。生徒のみなさんがこれまでどおり、活発に自分のやりたいことに取り組んでいけるように、必要な準備を進めています。

＊＊＊ 検討委員会で協議しまとめたこと ＊＊＊

第１回(10月)：国・県の方針確認、市の取組、地域クラブ活動の目指す姿(基本方針)について
第２回(11月)：地域クラブ活動の目指す姿(基本方針)(案)について
　部活動地域移行推進計画案の検討(補助事業関連)
　種目別ミーティングの開催について
第３回(12月)：部活動地域移行推進計画案の検討(全体計画)
　令和6年度部活動地域移行の取組と地域クラブ活動体制について
第４回(２月)：部活動地域移行推進計画案の検討(意見取りまとめ)
　令和6年度部活動地域移行の取組と地域クラブ活動体制について
　種目別ミーティングの実施状況確認・課題の整理
　令和５年度検討委員会意見取りまとめ

地域移行の糸魚川市としての考え方

これまで『学校教育活動』として教員が運営・指導を担ってきた部活動を『社会教育活動』として地域ぐるみで運営・指導する『学校と連携して行う地域クラブ活動』に段階的に「移行」します。

まずは休日の部活動から優先的に取り組み、令和８年度を目標に休日の部活動は地域クラブ活動に移行することを目指します。

また、『地域クラブ活動』では、地域のスポーツ団体・文化芸術団体が指導・運営を担うことを想定していますが、当面の間、『学校部活動』も継続し、自校生徒の活動を地域と連携して支えていく体制も必要であると考えています。

『学校教育活動』から地域の『社会教育活動』へ　移行のイメージ

＜学校部活動・地域連携部活動＞		＜地域クラブ活動＞
学校教育活動の一環 （学校教育法）	位置付け 移行	学校と連携して行う 地域クラブ活動 （社会教育法）
＜部活動＞		＜地域クラブ活動＞
教員・部活動指導員	<指導者>	地域の指導者（有償） （先生の兼職兼業も可）
当該中学校の生徒対象	<参加者>	地域の中学生が対象 （単独校～複数校）
部費等・保護者負担 学校で運営	<費用負担>	会費等・保護者負担 クラブで運営
学校で加入	<保　険>	スポーツ安全保険など クラブ・個人で加入
学校単位（合同可）	<大会参加>	クラブ単位 ※中体連・中吹連に関する大会は各連盟に認められた場合に参加が可能

学校部活動の地域移行は、すぐにとはいかず、時間もかかることから、以下のように取り組むこととします。

年度	学校部活動		地域クラブ活動	
	平日	休日	平日	休日
～R4	運営：学校 指導：先生	＜地域連携部活動を併用＞ ・運営：学校 ・指導：地域の指導者 ※合同部活動体制の活用も		
R5・6・7	平日は継続	（休日は地域クラブ）	運営：地域 指導：地域の指導者	休日の活動の移行
R8～				
R?～ （時期未定）	（平日も地域クラブへ）			平日の活動の移行

◆『地域移行だより』の発行

地域	種　目	クラブ名	活動場所	活動曜日・時間
能生地域	バレーボール	能生ジュニアバレーボールクラブ（男子）	能生中アリーナ	火：18時30分～20時30分（男女） 木：18時30分～20時30分（女子） 金：18時30分～20時30分（男子） 日：８時00分～12時00分（男女）
		能生ジュニアバレーボールクラブ（女子）		
糸魚川地域	軟式野球	糸魚川エクスプレスクラブ	糸東中グラウンド	火・水・金：18時00分～19時00分 土or日：８時30分～11時30分
		美山ベースボールクラブ	糸中グラウンド	月：18時30分～20時30分 土：８時30分～11時30分
	バレーボール	糸魚川ヤングバレーボールクラブ（男子）	糸魚川中武道館 亀が丘体育館	月・木：19時00分～21時00分 日：13時00分～16時00分
		奴奈川会（女子）	糸魚川中武道館 亀が丘体育館	月・木：19時00分～21時00分
	ソフトテニス	糸魚川フロンティアクラブ	美山テニスコート ※雨天は糸中体育館	土・日：18時00分～21時00分
青海地域	軟式野球	青海ベースボールクラブ	青海総合グラウンド 青中グラウンド	木：18時30分～20時30分 土・日：９時00分～12時30分
	ソフトテニス	青海ジュニアソフトテニスクラブ	青中テニスコート 名引山テニスコート	火・水・金：16時00分～18時00分 土：９時00分～12時00分
	剣道	青海剣道クラブ	青海中柔剣道場	月・木：19時00分～20時30分
市内全域対象	バスケ	糸魚川市バスケットボール協会U15（SPIRITS10）男子）	市民総合体育館 糸高体育館 市内体育施設	月・水：18時30分～20時30分 金：19時00分～20時30分 土：９時00分～12時00分
		糸魚川市バスケットボール協会U15（SPIRITS10）女子）		
	サッカー	糸魚川FC U-15	糸魚川中グラウンド 須沢臨海公園（仕） ※冬期は青中体育館又は能生体	月：19時00分～21時00分 火：18時30分～20時30分 水：19時00分～21時00分 土：13時00分～16時00分
	バドミントン	糸魚川JBC（ラブオールITOIGAWA）	亀が丘体育館 市民総合体育館 糸魚川東小体育館	月：18時00分～20時30分 木：18時00分～20時30分 金：19時00分～21時00分 土：16時00分～19時00分
	体操競技	青海体操クラブ	青海生涯学習センター体育室	月・水・木：16時30分～18時30分 日：13時30分～16時30分
	相撲競技	能生相撲教室	海洋高校相撲場	木：18時30分～20時00分 土・日：９時00分～11時30分
	柔　道	糸魚川少年柔道教室	白嶺高校柔剣道場	月・木：19時00分～21時00分

2.実証内容と成果

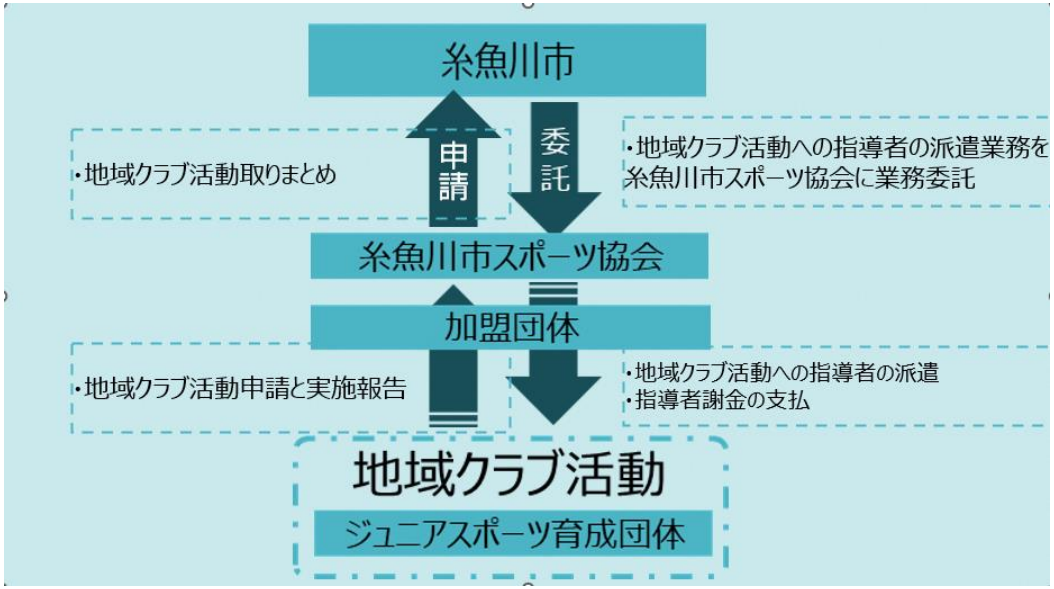
スポーツ庁

主な取組例

◆糸魚川市地域クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球、ソフトテニス、バスケットボール バドミントン、バレーボール、サッカー、体操、 相撲、柔道、剣道
運営団体名	糸魚川市
期間と日数	期間・・・通年実施 日数・・・種目ごとに設定 70日～210日程度
指導者の主な属性	競技スポーツ団体指導者 教員
活動場所	市内社会体育施設、学校開放施設
主な移動手段	保護者送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	12,000円～36,000円程度
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

◆運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



◆指導者や運営スタッフなどの役割分担等

・指導者：実施団体が競技団体等と連携して確保
定期活動での指導・監督及び大会等の引率を行う。

・運営スタッフ（実施団体）：
主に生徒の保護者が担う（会場確保、経理、庶務等）

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

◆総括コーディネーターの配置
１名
◆地域コーディネーターの配置
１名

基本方針・推進計画の方向性を踏まえ、各実施主体の活動体制や活動内容などについて連絡調整を図り、関係団体間の連携強化を図る。

取組の成果

◆学校訪問、部活動訪問により部活動における地域連携のニーズの掘起しを進めた結果、令和６年度中に６種目14部活動が地域クラブ活動と連携した活動を開始した。
（Ｒ６時点　地域クラブ活動　10種目17クラブ➡22部活動に関与）

◆地域連携型部活動の調整・推進も図り、市内４中学校を対象とした月１回から４回の合同練習体制の整備がすすめられた。
（陸上競技、剣道）

コーディネーターの具体的な動きの実績

◆教職員への説明会を実施。学校部活動における地域クラブとの連携の在り方など、考え方のすり合わせが図られた。
（市内4中学校訪問・説明）
◆学校に意向調査を実施。地域移行に向けた学校部活動単位の意思確認が進んだ。（すべての部活動が地域連携・地域移行を希望）

今後の課題と対応方針

◆部活動と社会教育団体との連携調整に引き続き取り組むとともに、受け皿となる組織体制がない種目の体制づくりを進める必要がある。
◆令和8年度以降の休日の部活動の体制について、学校及び地域クラブと活動調整を進める必要がある

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

◆部活動指導員配置事業の活用

◆地域クラブ活動への地域の指導者の配置

◆指導者資格取得への支援
（市単独補助事業）

◆部活動指導員、ジュニア指導者研修会の開催

地域指導者の登録人数

74名

地域指導者の構成

・教員６名
・競技団体の指導者　68名
（内退職教員7名）
・有資格指導者　41名

種目

バスケ、サッカー、野球、体操、バレー
ソフトテニス、剣道、柔道、相撲

指導者資格取得

・５種目　10名
バスケットボール、
少年野球、
ソフトボール
綱引、バドミントン

今後の課題と対応方針

◆多くの地域の指導者から協力を得て活動機会の提供面では成果がみられているものの指導者側からは、部活動の教育的意義の継承など、地域クラブ活動において求められる役割や資質などについて、不安の声も寄せられている。
　市内の地域クラブ活動における研修制度の整備、研修内容の充実化などを進めていく必要がある。

◆持続可能な指導体制づくりも大きな課題となっている。
　現役世代の指導者確保のため、地域の企業などにも理解と協力を得ていく必要がある。

取組の成果

◆部活動指導員配置
➡30部活動４２名
◆地域クラブ活動への指導者の派遣
➡17クラブ・74名）
◆指導者資格取得補助
➡公認コーチ資格等　取得10名
◆研修会の開催
➡参加25名

指導者研修の内容

◆10月27日（日）
◆12種目　20名参加
・糸魚川市の基本方針
・救急救命講習
・中学生期の生徒理解
・スポーツインティグリティ
・コーチング理論

参加者の声

・１つ１つの講義時間をもう少し長く取って欲しい。
・昭和の人間が平成・令和の子ども達を理解した上で指導を心がけないと、指導者とこども達の思いや目標に大きな違いが生じ、結果として良い育成にならない。
・インティグリティの理解が深まりました。
・研修を受けることで資格や認定などがもらえる講義も有りましたら是非参加したいです。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

◆部活動地域移行検討委員会の開催

◆学校説明会の開催
（教職員向け）

◆学校の意向調査

◆スポーツ協会、ジュニアスポーツ育成団体への周知啓発と意向調査

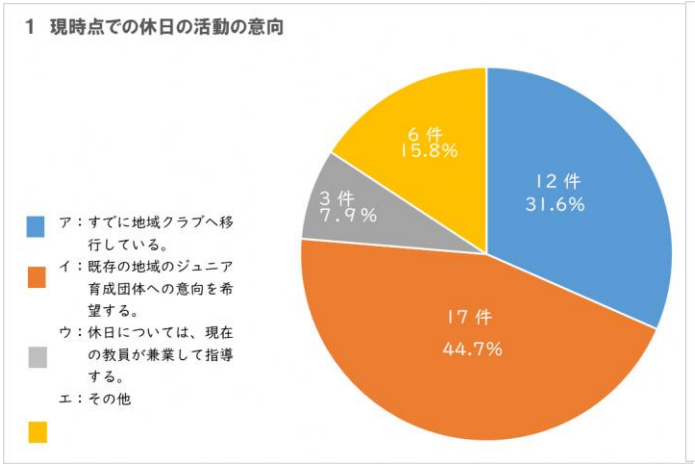
取組の成果

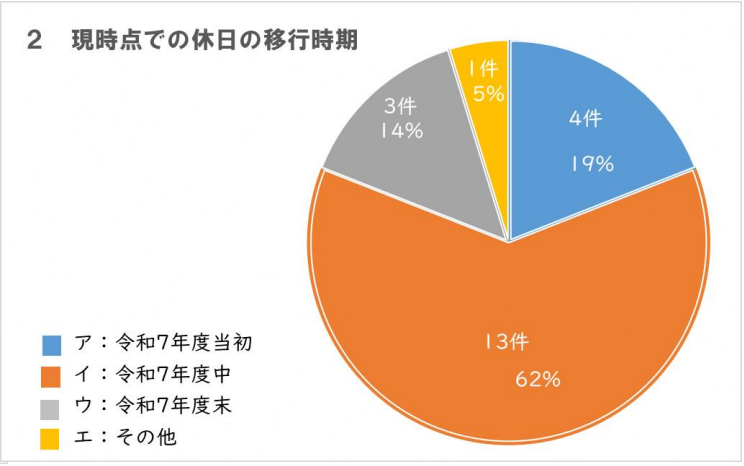
◆検討委員会の開催
➡糸魚川市における地域クラブの認定及び今後の支援について意見とりまとめ

◆学校説明会及び意向調査の実施
➡全ての運動部活動から地域クラブ活動との連携の意向が示された。

◆スポーツ協会を通じたジュニアスポーツ育成団体への働きかけと意向調査の実施
➡スポーツ協会への説明と協力要請。
市内51のジュニアスポーツ育成団体のうち17団体が地域クラブ活動を開始

学校の意向調査結果





今後の課題と対応方針

◆学校と地域クラブの担い手となるスポーツ・文化芸術団体が連絡体制づくりが課題となっている。
　地域学校協同活動との協力なども進め、きめ細やかな活動調整、連絡調整に取り組む。

◆糸魚川市においては平日の部活動も徐々にが縮小化が進む見通しとなっている。
　広く社会教育団体の協力を得ながら様々なニーズに応じた中学生の活動機会の提供を進める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

◆学校単位での部活動の維持が困難となってきていることを踏まえ、スポーツ協会及び文化協会を通じた種目ごとの学校区・市域を越えた合同活動体制等の実施促進

◆スポーツ協会・競技団体の組織的なバックアップ体制による広域的な指導者の確保

取組の成果

◆学校区・市域を超えた合同活動
・定期的な合同練習を競技団体が協力して実施　➡〔 陸上競技、剣道 〕
・県内他市の相撲クラブと定期的な合同稽古を実施（稽古場所の確保・拠点化）　➡〔 相撲 〕

◆広域的な指導者の確保
➡スポーツ協会加盟団体35団体の協力体制

今後の課題と対応方針

◆生徒数の減少から、学校単位で部活動（地域クラブ活動）を継続していくことが困難となりつつある。
また、地域クラブの担い手となるジュニアスポーツ育成団体でも会員の減少により活動の集約化等が進んでいる。
スポーツ協会等連携し、学校と地域が一体となって中学生の活動機会を支えていく必要がある。

◆地域クラブの指導者や部活動指導員の確保に際し、関係団体の組織的なバックアップが得られている。継続的で安定した地域の支援体制づくりのため、スポーツ協会と連携した支援体制づくりを進める。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実①

取組事項

◆部活動種目の地域連携体制の強化

◆指導者研修の開催

◆指導者資格取得への支援

取組の成果

◆部活動種目の地域連携体制の強化
➡部活動とスポーツ協会、ジュニアスポーツ育成団体との連携を促し、平日も含め、地域クラブ活動の機会が増加した。（地域の協力・専門指導者の指導・教員の負担軽減）

◆指導者研修の開催
➡指導者研修を開催し、質の高い地域クラブ活動の提供ができる指導体制の基礎づくりを進めた。
また、研修機会を通じ、指導者間の種目を超えた横のつながりも見られる。

◆指導者資格取得への支援
➡有資格指導者の増加
・R５年度８名
・R６年度10名

今後の課題と対応方針

◆地域クラブ活動の指導者に求められる資質や資格については、情報収集と考え方の整理を進めている。
当市には15 種目の部活動種目に対し、スポーツ協会加盟団体は35 団体、ジュニアスポーツ育成団体は51 団体あることから、地域の社会教育団体から協力を得てJSPO等の指導者資格取得を促進し、充実した指導体制づくりを進める。

◆部活動種目以外のニーズの掘り起こしは課題となっている。体験事業などを通じて新たな種目への取り組みも検討を進めたい。

◆多志向（競技志向・楽しみ志向　など）の幅広いニーズにも対応した活動環境の整備を進める必要がある。
当市の地域クラブ活動団体はすべて競技団体の参加団体となっている。レクリエーション的志向の生徒の受け皿の確保も必要となっている。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

◆各種活動支援の活用

◆実証事業を活用した指導者配置経費の支援

◆糸魚川市スポーツ協会ジュニアスポーツ育成団体補助金の活用

◆施設使用料等減免措置

◆中体連主催大会等への参加費用支援

地域クラブに係る経費

■ランニングコストの分析

地域クラブ活動はスポーツ協会傘下のジュニアスポーツ育成団体の活動がベースとなっており、競技団体所属の指導者によるボランティア体制で活動が進められ、運営費・活動費は受益者負担で賄われてきている。

今後は指導者配置にかかる経費の負担が必要となるため、競技団体、保護者、市で調整と検討が必要。

・これまで…ジュニアスポーツ育成団体活動＝ボランティア活動スタイル➡[すべて受益者負担]

・これから…地域クラブ活動＝適正な指導者配置経費を支弁➡[新たな経費の負担を調整]

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

<経費の条件>

・活動時間　休日３時間×35週
　平日2時間×３回×35週
　合計315時間

・指 導 者　29人（17クラブ）

・指導者謝金　3,045,000円（R6）

・そのほか活動費
　➡概算8,000,000円

経費合計　11,045,000円

<受益者負担>

・会員　約236人

・一人当たり経費　約46,800円／年

・一人当たり会費負担　約20,700円／年

➡全体経費の44.2%を受益者が負担

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

◆実証事業を活用した指導者配置経費の支援
➡17クラブ29名分の指導者配置経費の支援を実施。
合計3,045時間分

◆糸魚川市スポーツ協会ジュニアスポーツ育成団体補助金の活用
➡糸魚川市スポーツ協会（市）単独補助<継続事業>　17クラブ
ジュニアスポーツ育成団体（中学生対象）の活動体制に応じた定額補助。運営費を補助対象とするもの。

◆施設使用料等減免措置
➡ジュニアスポーツ育成団体への施設使用料減免規定の適用
社会体育施設及び学校開放施設の使用料を減免した（空調利用除く）

◆中体連主催大会等への参加費用支援
➡中体連大会（全国中学校総合体育大会関連、新人戦関連）参加費用を市が負担。

今後の課題と対応方針

◆これまでジュニア育成団体の活動（地域クラブ活動）については、施設の使用料減免やスポーツ協会を通じた活動費の助成などにより、会員の会費で全て運営されてきている。
　これまではボランティア活動がベースの運営であり、人件費や指導料などの負担が新たに必要となり、その財源確保と受益者負担割合の検討が必要となっている。

◆令和５年度・６年度は実証事業を活用し、指導者配置経費を市が負担してきたが、活動にかかる経費全体を把握し、指導者謝金の条件と、それに伴い必要となる受益者負担の在り方について検討を進める。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

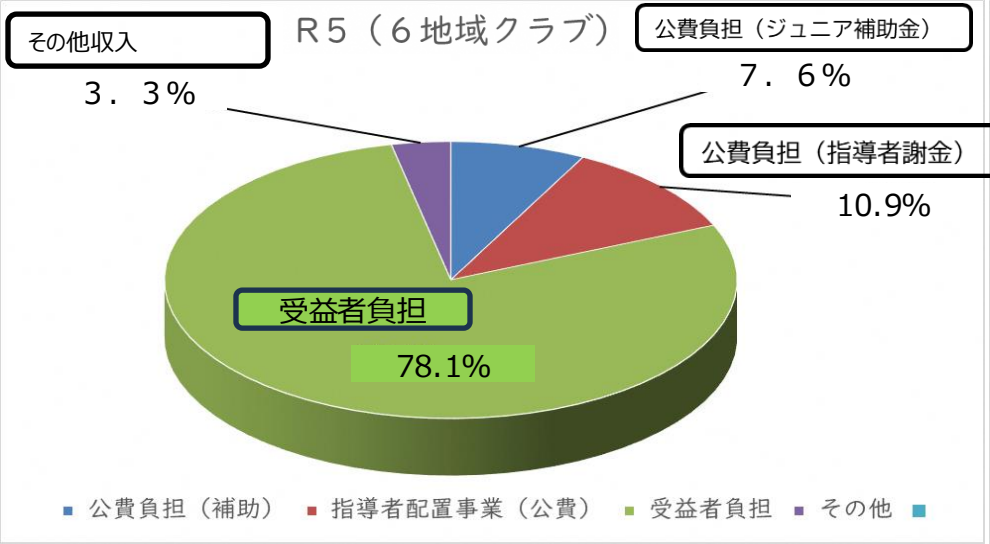
取組内容

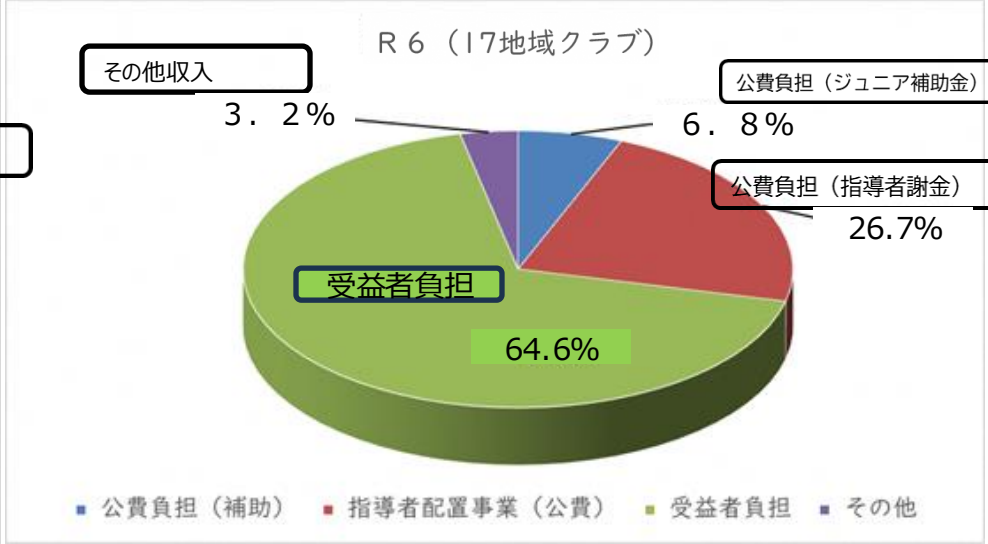
●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等③

資料

◆活動費の負担割合（財源構造）

収入別	R５（6地域クラブ）	R６（17地域クラブ）
公費負担（補助）	7.6%	6.1%
指導者配置事業（公費）	10.9%	22.6%
受益者負担	78.1%	67.9%
その他	3.3%	3.4%





2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

◆地域クラブ活動の学校施設利用
・放課後（部活動の時間）の学校施設の活用
・地域クラブ活動への学校開放に必要となる環境整備

取組の成果

◆地域クラブ活動の学校施設利用
・放課後（部活動の時間）の学校施設の活用
➡部活動顧問と受け皿となった地域クラブ活動指導者の競技により、空いた部活動時間の学校施設利用が進められた。
（青海ジュニアソフトテニス部、能生ジュニアバレーボールクラブ）
・地域クラブ活動への学校開放に必要となる環境整備
➡体育施設の定期利用調整会議で調整。学校開放施設の安定的な利用が確保された。
・その他
➡学校備品の活用について申し合わせ

今後の課題と対応方針

新たに地域クラブ活動を行う場合の活動場所の確保が大きな課題となっている。
学校部活動が使用していた時間帯の学校施設を地域クラブが活動できるよう、利用調整の仕組みづくりが必要となっている。

学校開放における施設・備品の地域クラブ活動での利用は、徐々に学校との調整が図られてきている。
今後は部活動が縮小してきたときの学校施設、学校備品の更新・整備について、役割分担を整理しておく必要がある。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

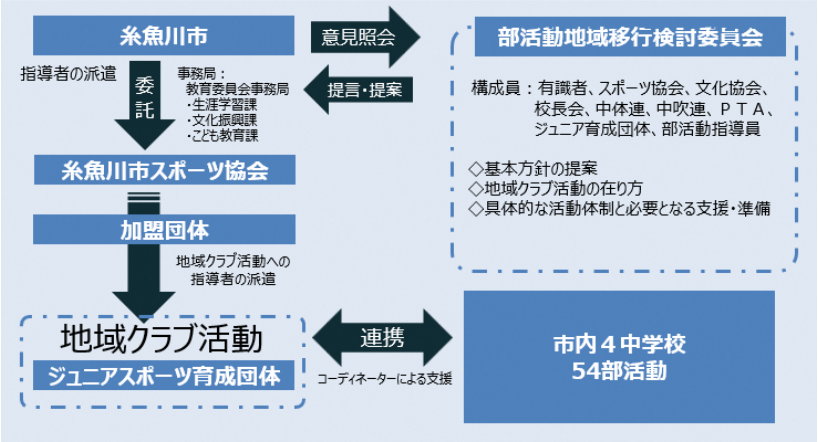
●総括

糸魚川市では、糸魚川市スポーツ協会加盟団体傘下のジュニアスポーツ育成団体が主な地域クラブ活動の受け皿団体となっており、令和6年度で合計17クラブが活動を開始している。

17クラブは全て、受益者の会費負担により運営されており、指導は競技団体所属の指導者が無償で行っている。

部活動15種目中、10種目で地域クラブ活動が開始されており、生徒の活動機会の確保は進展が見られてきた。

今後は、持続可能な運営体制の構築を目指し、地域クラブ（実施団体）が連携した地域クラブの運営組織体制の整備について検討を進める必要があると考える。



●成果の評価

◆地域クラブ　17クラブについて

・既存のジュニアスポーツ育成団体が中学生・部活動を受け入れ

・競技団体主催・競技志向色が強めの活動

・学校部活動との活動調整、役割分担がまだまだ不足

➡部活動顧問・学校と地域クラブの連絡調整体制の充実が必要

◆地域クラブの運営体制について

・20年続く糸魚川市のジュニアスポーツ育成団体の活動が基礎となっており安定感はある。

・指導者経費の捻出、運営費の平準化のため、地域クラブをまとめて運営する組織体制づくりについて検討を進める必要がある。

●今後に向けて

現在、糸魚川市で活動する15種目の部活動すべての受け皿体制整備を進めていく。

また、部活動に所属しない生徒、地域クラブには所属しない生徒のニーズを把握し、より多くの生徒に活動機会が提供できる地域クラブ活動作りについて、さらなる取り組み・検討を進めたい。

多様な活動機会づくりにおいては、中学生の声を聞き、生徒自身が考え、地域クラブを作ることに取り組みたい。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和４年		令和５年		令和６年	令和７年
●準備会議 ●部活動指導員制度の取組み	・検討体制づくり ・指導者の確保	●検討委員会 ●受け皿団体の発掘・調整	・目指す姿の策定 ・種目別ミーティングの開催	●検討員会 ●スポーツ協会を通じた地域クラブの募集（17クラブ）	●地域クラブ活動の拡大

●ステークホルダー

・学校、中体連事務局、生徒、保護者
・スポーツ協会、競技団体、部活動指導員
・市、教育委員会、コーディネーター
・有識者（アドバイザー）

●経過

令和4年度に部活動指導員制度の活用により、指導者の確保と地域連携活動を開始した。

その後、部活動改革の考えが示されてきたことにより、糸魚川市における部活動の地域移行の方針と目指すべき姿の検討を行い、令和6年3月に考えがまとまったもの。

そこでは、先ずは休日から学校で維持が困難となってきている部活動を地域が連携して支えることで、中学生の活動機会の維持・発展を目指すこととされている。

そのため、教育委員会では、既存の地域のジュニアスポーツ育成団体に要請し、部活動との連携、中学生の受け入れについて調整を進め、令和5年度に6団体、令和6年度に17団体による地域クラブ活動が開始されている。

●実施にあたって生じた課題

糸魚川市スポーツ協会のジュニアスポーツ育成団体活動支援事業は平成18年から続く取り組みで、市内のジュニアスポーツ育成団体の活動は活発で、指導体制も整っている。

運営・活動体制は、会員の会費で賄う自主自立した体制であるが、指導体制は、競技団体所属の指導者が無償で担ってきている。

今後、ジュニアスポーツ育成団体の地域クラブ化を進めていくにあたっては、指導者の継続的な確保のためにも指導者処遇を見直していく必要がある。

指導者謝金の在り方と受益者負担について、協議と調整が必要になっている。

また、ひとり一人の負担に種目ごとに差が生じないよう、地域クラブを総括して運営する組織体制づくりも検討が必要と捉えている。

●実施内容、工夫した点 等

・部活動と保護者、競技団体によるマッチング（活動調整）
・小中学校への地域クラブの紹介